



2016年7月18日（月）

フジサンケイビジネスアイ

MCD 広告付きバス停整備を受託

充電器や音声ガイド導入へ

屋外広告大手、仏ジェシー
ドゥコーの日本法人であるエム
シードゥコー（MCD、東京都
千代田区）は、東京都交通局か
ら広告付きバス停上屋の整備事

業を受託した。
契約は最低15年間に及ぶもの
で、バス停上屋のデザインや設
置場所、運営維持管理、広告販
売・営業を含む包括的なもの。

エムシードゥコーは2017年から
整備を始める考え。

計画ではまず、東京オリンピ
ックが開催される20年までに、
2平方メートルの広告2面を備えたバ
ス停を400カ所整備する。バス
停には、東京都や関連機関と協
議の上、スマートフォンなどに
対応するUSB充電器やUVカッ

トガラス、音声ガイドなどを導
入するほか、利用客が多い150
カ所については無料のWi-Fi
接続ポイント、32インチのタッチス
クリーン式情報機器も設置する
予定。

当初は運行情報の閲覧用とす
る考えだが、順次東京都交通局
の要望に応じ、地図や周辺の情

報などの提供も検討する。

東京都交通局のバス停をめぐ
っては、すでに同局が100基の
広告付きバス停上屋を独自に整
備し、東京都の指定広告代理店
に対して広告営業販売権を与え
ている。MCDは、仏ジェシー
ドゥコーが85%、三菱商事が
15%を出資している。